

速報 文部科学省等支援プログラム

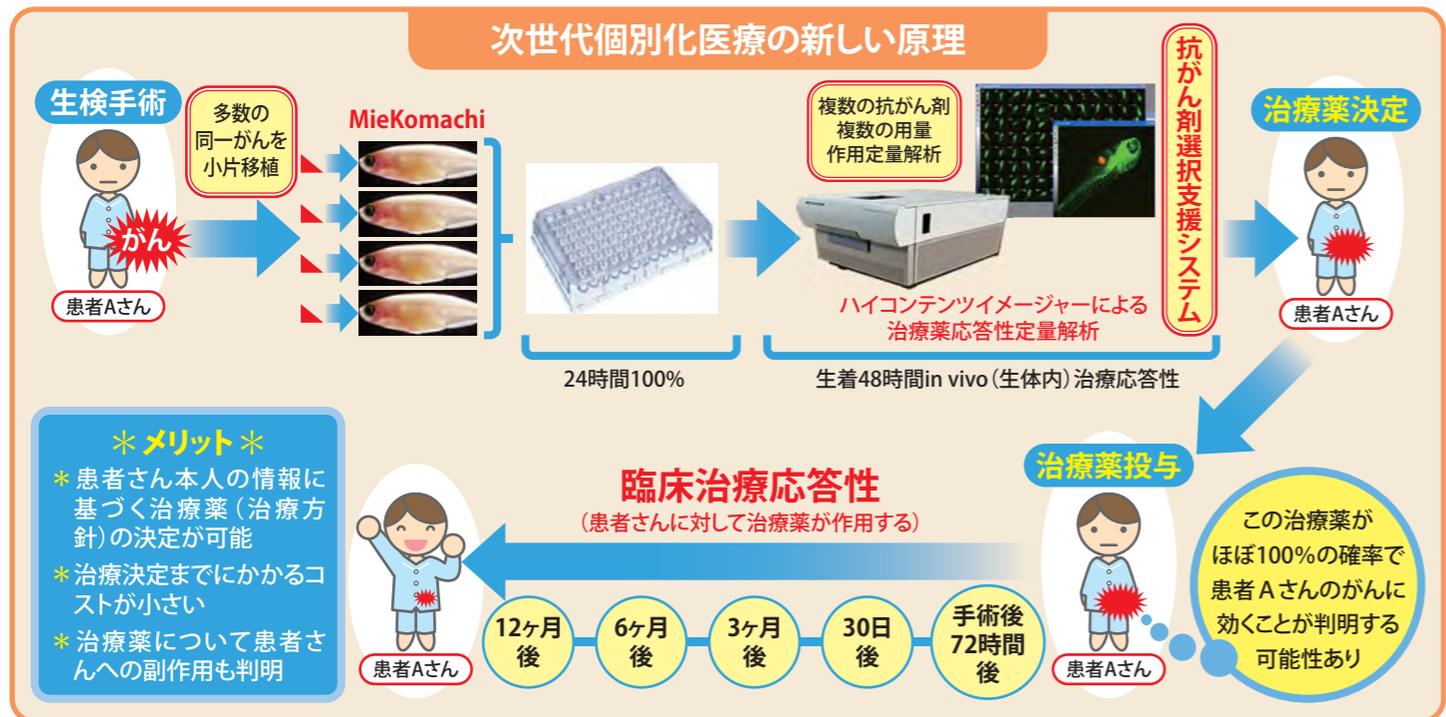
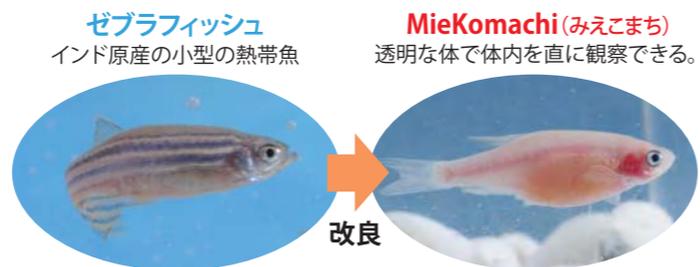
平成27年度 文部科学省特別経費

大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実

「次世代個別化医療モデルのシステム構築」

世界の個別化医療は、主に遺伝子情報等を基盤として、多数の患者における解析から統計的に出された診断名と治療薬で投薬・治療を行っています。一方、本事業は、患者さんひとりひとりに最適な治療法を実現するために、患者さんから提供された約1万個の細胞を96匹のゼブラフィッシュ「MieKomachi」に移植し、生着させ、より生体内に近い条件下での解析結果を得るまでの時間を短縮（例えば手術後72時間以内）することにより、その患者さんにとって迅速に信頼性の高い治療薬を決定し、治療を開始することが可能となります。この臨床検査システムの研究開発とその臨床への応用促進のための「三重大学次世代個別化医療センター」を設立し、世界に先がけて抗がん剤治療の個別化医療サービスの提供を目指しています。

本学では、2009年に日本で初めて三重大学に「メディカルゼブラフィッシュ研究センター」が設置され、2012年には「MieKomachi」を開発し、ゼブラフィッシュの本格的な医学応用基盤技術研究が進められ、本研究プロジェクトの基盤となっています。



平成26・27年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

「地域の舞台芸術振興のための特色あるアートマネジメント人材育成

～〈生きる力〉を育むためのアートカリキュラム～

本学は、平成26年度から文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の採択を受け、「地域の舞台芸術振興のための特色あるアートマネジメント人材育成～〈生きる力〉を育むためのアートカリキュラム～」の事業を展開しています。

本事業に先駆けて、本学は、平成25年9月に「文化芸術振興基本法」と「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（劇場法）」の基本理念に則り、三重県との間に「実演芸術の振興等にかかる連携に関する協定」を全国初で締結しました。この協定では、地域圏大学を目指す本学と三重県文化会館を設置する県とが相互に連携協力することで、大学教育における文化・芸術活動の充実と人材育成が目的とされています。

これらを踏まえて本事業では、芸術文化が私たちの社会や生活に深く根ざし、〈生きる力〉を育むものであることを再認識し、その魅力を伝えることができるような、豊かな人材育成のカリキュラムを組み立てています。とくに、〈アート〉と〈社会〉を繋ぐアートマネジメントは、芸術の領域のみならず、教育現場や社会福祉の現場など実社会でもますます求められています。本事業のカリキュラムでは、受講生の関心に応じて、基礎講座から実践的・発展的講座まで段階を通して学べるシステムになっています。文化や芸術の本質を探求し、社会の中でその重要性を発信していく視点を複眼的に身につけることで、地域の芸術文化の振興に貢献できる人材を育成します。

